

当院の消化器内科またはこの研究に参加する施設に通院中の患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] ヘリコバクターピロリ除菌長期経過後のバレット上皮発生に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院光学医療診療部 清水 勇一

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院光学医療診療部 清水 勇一

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道医療センター 加藤 貴司

札幌北楡病院 片桐 雅樹

市立函館病院 安孫子 怜史, 成瀬 宏仁

太黒胃腸内科病院 鈴木 純二

[研究の目的]

本研究では、ヘリコバクターピロリ除菌長期経過後のバレット上皮発生の状況を、内視鏡画像から解析する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000 年 4 月～2015 年 12 月の間に北海道大学病院消化器内科または本研究に参加する施設において、ヘリコバクターピロリ菌の除菌治療を行い、その後も内視鏡検査を継続している患者の中から、除菌成功後 5 年以上経過した方。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、病理結果、診療記録（除菌年月日を含む）、ヘリコバクターピロリ感染診断：抗ヘリコバクターピロリ抗体、尿素呼気試験、迅速ウレアーゼ試験、培養、生検、内視鏡画像：除菌前、および今回の定期健診での内視鏡観察像（バレット粘膜の有無と程度、逆流性食道炎の有無と程度、胃粘膜萎縮の程度、食道腺癌の有無、食道裂孔ヘルニア、胆汁逆流の有無など）

病理学的検査結果（内視鏡検査時にバレット粘膜を認めた場合やバレット粘膜内に異型上皮もしくは癌を疑う所見が確認された場合:バレット粘膜の病理学的特徴(特殊円柱上皮の有無)、食道腺癌、異型上皮発生および周囲の組織所見有無)

[研究実施期間]

令和元年承認後～2021年7月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 霜田 佳彦

電話 011-716-1161(内線 5723)